

VIPSTYLE
RECOMMEND
WHEEL



シュヴァート グラソン

19inch	7.5J~12.5J	8万2500円~9万5700円
20inch	8.0J~12.5J	9万4600円~10万6700円
21inch	7.5J~12.5J	10万8900円~13万3100円
22inch	8.5J~12.5J	14万800円~16万600円

構造：鍛造 2ピース

色：ブリリアントシルバーブラック、シルキーリッチシルバー

WORK

SCHWERT GLASON

tel.06-6746-2859(西日本) tel.048-688-7555(東日本) tel.052-777-4512(中日本)
<https://www.work-wheels.co.jp>



愛知県のイトーレが手がけた50LSに21インチをセットアップ。ディスク色は滑らかなフィンを引き立てるシルキーリッチシルバー。インセットをギリギリまで追い込めるのも2ピースならではの。

随所に繊細さが光る伸びやかな25スポーク

その時代のニーズに合致したデザインやカラーリングを武器に、数多くのセダンの足元を彩ってきたワーク シュヴァートシリーズ。ニューモデルのグラソンも、鍛造では表現が難しい25本のスポークが繊りなすフィンデザインで魅せる。こ

のフィンはU字型のスポークと間に設けたサブスポーク、そしてU字ラインを引き立てる両サイドのスポークの5本で1セットとなる。遠目からだとフィンに見えるが、間近で見るとスポークのディテールが際立つという二面性も推しのポイント。この手

のデザインはどうしてもディスクが平面に見えがちだが、グラソンはセンター側のスポーク天面に3種類の高低差を付けてクリア。ミリ単位でインセットをオーダーできる2ピース構造だから、ツライチにこだわるユーザーにもオススメだ。



複雑かつ濃密なセンターパート。U字スポークはセンターから緩やかに立ち上げることできり気なく美しさを演出。



スポークは歴代シュヴァートシリーズの中でも最も細い。軽量化だけでなく、強度や耐久性にもこだわって設計。



スポークエンド部はアンダーカットを施して軽量化に貢献。ゴールドピアスやリムアレンジなどオプションも豊富。

人気モデルを
ショップ目線で語る

WORK

LS ADAMAS

ワーク tel.06-6746-2859(西日本) tel.048-688-7555(東日本) tel.052-777-4512(中日本)
https://www.work-wheels.co.jp

セダンに相応しい重厚ディッシュは
鍛造×3ピースでさらなる高みへ



LEXUS LS500

(F) 22inch 10.5Jマイナス2
(R) 22inch 12.0Jプラス17



ワークのホイールは充実したオプションメニューも人気の秘訣。こちらはディスク色に合わせてブラッシュドリムに変更。ピアスボルトとバルブはゴールドでゴージャスに。

V IPセダンのように長い歴史を持つジャンルは、トレンドも時の流れに合わせて様々なカタチに変化していった。それはホイールも然り。例えばワイドフエンダー全盛期にはリムの深さを求めたり、シンプルブーム期には高価な海外のハイブランドがもてはやされたりと、時代ごとに「流行り」がある。では現在はどうか。現行型や高年式のセダンはボディが大きくなり、ホイールも純正で19・20インチと大径に。だからインチアップも21・22インチが定番となりつつある。そんな中、再び注目を集めているのが5ホ

LS ADAMAS エルエス アダマス

21inch 8.0J~13.0J	21万2300円~30万300円
22inch 8.0J~13.0J	22万6600円~31万4600円
24inch 8.5J~13.5J	26万6200円~38万7200円

構造：鍛造 3ピース
色：ペイント、ブラッシュアルマイト、ブラッシュド、スーパークロームメッキ

エイトーレ

代表：石川 猛士

愛知県名古屋市中区新沼町65
tel.052-508-8696
https://www.instagram.com/eightore/

「やっぱり鍛造3ピースのホイールは高級感が違います」と石川サン。右は50LSオーナーの丹羽くん。



ールのディッシュホイール。30年以上前のVIP創世期に流行ったが、いつしかメッシュやスポーク人気に押されてしまった。だがディッシュの強みはディスク面の広さがもたらす重厚感。インチ数が大きくなるほどそれが強調されるため、大径サイズが主流な今の時代にマッチ。ワークのLSアダマスはその新時代を占うかの如く、21インチからスタートのディッシュデザインを採用。構造は手間をかけて組み付ける3ピースで、ディスクは鍛造削り出しというプレミアム感も高級セダンに相応し

い。マンガンラスタのボディ色が渋いこちらの50LSには22インチを装着したが、大きなフエンダーアーチにピタッと収まり、ローダウンとの相乗効果でよりドッシリとした印象に。セッティングを手がけたエイトーレの石川サンに聞くと、「ディッシュは昔からVIPの王道デザインなので、高級感の演出に最適。しかもアダマスはフルリパースリム。ディスクがさらに大きく見えるという点でもオススメです」。

他と同じでは満足できないセダンオーナーに、ぜひ勧めたい逸品。



センター部をさり気なく露とし込み、ディッシュホイール特有ののっぺり感を解消。センターキャップはラグジュアリー全盛期にデビューした、初代LSシリーズをオマージュした新デザイン。スポークサイドにはリブを設けて立体感を演出。「FORGED」の刻印が鍛造の証。